



開催内容はホームページでも紹介しています

みんなで考える！ 日本初！行政主催による 気候市民会議が始まりました



気候市民会議の会場「むさしのエコreゾート」

近年では、地球温暖化が原因とみられる異常気象が発生し、私たちの生活はその影響を受けています。気候変動問題の当事者としての「気づき」や「行動変容」を一人ひとりに広げていくために、市では「気候市民会議」をスタートしました。気候変動の現状に詳しい講師によるレクチャーを踏まえた上で、無作為抽出と公募によって参加者となった市民の方などが、地球温暖化に対する目指すべきまちの姿や、一人ひとりの関心と行動を変えていくための取り組みについて市民目線で話し合います。

気候市民会議ってどんな会議？

会議の最終目的

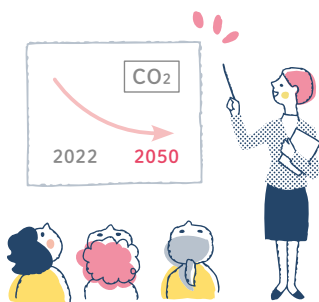
話し合いをもとに、地球温暖化・気候危機問題に対する具体的な環境配慮行動を示す「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」を市が作成します。

会議の内容

計画の目的を達成するために、地球温暖化・気候危機問題を共有し、脱炭素社会を目指して、一人ひとりの関心と行動を変えていくための取り組みについて話し合います。

会議の前提

市では、武蔵野市地球温暖化対策実行計画 2021（区域施策編）2022 改定版と武蔵野市気候変動適応計画 2021 を策定し、2050 年度までに『温室効果ガス 排出実質ゼロ』のまちを目指しています。



〈スケジュール〉

- 第1回 7月26日【終了】
- 第2回 8月23日【終了】
- 第3回 9月27日【終了】
- 第4回 10月25日
- 第5回 11月22日

〈各回のテーマ〉

- 地球温暖化の現状とこれからの社会
- モノを買う・使う・手放す
- 動く・働く（学ぶ）・遊ぶ
- 住まいのエネルギー
- 全体の振り返りとまとめ

これまでの
会議の記録は
動画でも公開
中です！

気候市民会議の構成員

気候市民会議は、無作為抽出で案内を送付した方のうち申し込みをいただいた方と一般公募の方の総勢 68 名で構成されています。年代は 10 代～70 代までと幅広く、またお住まいの地域も市域全体から参加をいただいています。会議は各回のテーマについてゲストティーチャーによる講演・質疑の上、グループワーク形式で参加者が話し合いながら進めています。



気候市民会議の様子

第1回目(7月26日)は、江守正多氏を ゲストティーチャーにお迎えしてご講演いただきました

講演のエッセンスをご紹介します

● 気候危機に対して必要なこと

まずは何が起きているのか知ることが大切。
そのうえで、自分のことだと捉える！

● 地球温暖化によって何が起きるのか

海面上昇、強い台風の発生、水不足、食料不足、
熱波、生態系の損失などさまざまな影響が生じる！

● 気候変動対策に対する認識を変える

世界では気候変動対策を「生活の質を高める」と
認識する人が多い一方、日本では「生活の質を脅かす」と認識される。対策=我慢、ではない。

江守氏は、アドバイザーとして気候市民会議全体に参加され、専門的見地から、さまざまなアドバイスをいただき、各回の討議や検討がより充実したものとなるようにサポートいただきます。



ご講演の様子



登壇された江守氏

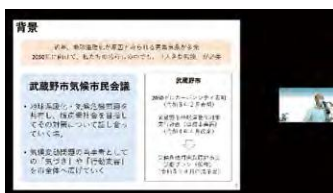
えもりせいた 江守正多氏

東京大学未来ビジョン研究センター教授。国立環境研究所 上級主席研究員。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。IPCC 第5次・第6次評価報告書の主執筆者。著書に『地球温暖化の予測は「正しい」か?』『異常気象と人類の選択』ほか。



次回開催は10月25日です

会議は傍聴することができます。傍聴の案内や申し込みについては、市報に掲載します。



各回の様子は
YouTube から
ご覧になります

むさしのエコre ゾート

所在地：〒180-0012 緑町3-1-5 (クリーンセンター隣)
開館時間：午前9時30分～午後5時
休館日：火曜日、祝日 (月曜日が祝日の場合は月曜日開館、水曜日休館)

第2・3回目は 話し合いが本格的にスタート

地球温暖化に対して自分たちで取り組むことができることや改善していけることなどについて、グループごとに話し合いました。どのグループも活発な意見交換がなされ、最後は発表して全体で共有しました。



第2回目の様子



第2回目の様子